



古志原小学校だより

# えがおいっぱい

令和6年度No.17

1月24日

(文責 校長 小林 敏朗)

3学期が始まり、2週間余りが経ちました。全国的にも島根県内でもインフルエンザが流行しています。本校では、インフルエンザ罹患者の数は2学期末から引き続き比較的落ち着いているという印象です。しかしながら、いつ爆発的に感染が広がるのかわかりません。学校全体で手洗いやうがい、換気等を継続的に心がけていきたいと考えています。ご家庭でも、ご家族全体で感染予防に努めていただくと喜びます。よろしくお願いします。

さて話は変わり、給食の残飯についてです。年間を通じて、栄養教諭から日々の残飯の状況について情報共有をしています。2学期後半くらいからそして3学期に入り、残飯が少なくなったという報告を受けることが増えてきました。献立によっては多少の増減があるものの(学年によっても違いはあります)、全体的に残飯が減ってきていたり、残飯がほとんどなかったりする日が増えてきているとのこと。どのこどもたちも成長するためには食は欠かせません。これからもしっかりと食べて、大きく成長してほしいと思っています。

## 体育の様子から…

先程の食と併せてですが、こどもたちの成長に運動、体力づくりも欠かせません。3学期に入り、どの学年でもなわとび運動に取り組んでいます。短なわでは長い時間を跳んだり、あやとびや交差跳び、二重跳びなどの技に挑戦したりと意欲的に取り組んでいます。また、学年にもよりますが、長縄で大波小波をしたり、友達と連続して8の字跳びをしたりしています。寒い時期に縄跳びはとてもよい運動だなと思っています。心肺機能を高め持久力をつけること、敏捷性を養うこと、体幹を鍛えること(よい姿勢づくりにつながる)などに効果があると言われています。しっかりと体力をつけて、寒い冬を乗り越えてほしいと思っています。



## 6年生平和学習のまとめとして…

1月14日(火)の午後、6年生は1学期から取り組んできました平和学習のまとめとして、先日ノーベル平和賞を授与されました日本被団協の島根県原爆被爆者協議会会長本間恵美子さんのお話を聞きました。お話の中で、お母さまが入市被爆をされご自身は被爆2世であること、お母さまは原爆についてほとんどお話をされなかったこと(「原爆はすごかったよ。」の一言だけだったとのこと)、8月6日にテレビ放映で広島市の平和記念式典の中継があると「テレビを切って」と言われたこと、ノルウェーオスロで行われたノーベル平和賞授与の式典の様子や現地の大学生との交流のこと、一人一人の声は小さいけどみんなの声が集まっておよそ80年間核兵器は使用されていないことなどをお話いただきました。6年生は2学期に島根県でも戦争があったことを学んでいましたが、その中で聞いたことの一つ、玉湯の列車への空襲のお話も話題に挙がり、これまでの学習と結びつけながら学習することができました。本間さんが最後に話された「小学校を卒業したから平和学習は終わりではなく、中学校に行ってもこれから先も平和についてずっと考えていってください。」という言葉が印象的でした。およそ1年間をかけて平和や戦争、広島に投下された原子爆弾のことを学んだり調べたり、発表会を開いてきたりした6年生です。きっといつも平和のことを頭の片隅に置いてくれることと思っています。この学習のふりかえりを紹介します。



今日話を聞いて原爆の被害にあった方々は辛くて思い出したくないと思うけど、このように伝え続けられるということはとてもすごいことだと改めて感じました。それにノーベル平和賞受賞まで伝えることを続けると小さな力が大きな力へと変わっていくことができるということを教えてもらいました。でも、苦勞したということも伝わってきました。ノーベル平和賞を受賞したからゴールではなく、これからもという、とても世界平和を願う気持ちが伝わってきました。(後略)

被団協のみなさんがどのようなことをされたのかということなどを知りました。(中略) 本間さんのお話を聴かせていただき、ノーベル平和賞を授与されることがどれだけ大変で、どれだけ大切なのか。改めて戦争がどれだけ恐ろしいか。そして世界中の人々が平和を求めているのがわかりました。このことをぼくたちの次の世代や他の人たちに、そして自分にずっと残すために、みんな一人一人ができることをすることで世界に平和が訪れ、みんなが笑顔になれると思いました。

### 1年生昔の遊び体験から…

1月15日(水)に1年生は昔の遊び体験をしました。当日は、地域ボランティアのみなさんや保護者のみなさん総勢13名にお出かけいただき、こどもたちの活動を支えるとともに技やコツを教えていただきました。1年生は5グループに分かれ「かるた」「けん玉」「お手玉」「コマ回し」「おはじき」「あやとり」にそれぞれ挑戦しました。これまでの幼稚園や保育園等での経験もありますので楽しく遊ぶことができました。たぶんですが、一番苦戦(?)していたのはコマ回しで、ひもの巻き方や巻いた後のコマの投げ方などうまくいかない、わからないことも多くあったかなという印象をもちました。この後、こどもたちは自分たちで練習をしていきます。そして、2月6日(木)には近隣の幼稚園や保育園の園児さんたちをお呼びして、一緒に遊んだり交流したりする予定にしています。2月6日を目標にきっと練習に励むことと思います。



### 3年生和菓子づくり体験から…

1月22日(水)に、3年1組は和菓子づくり体験をしました。3年生のせんだんでは、これまで松江市の素敵として松江城や水の都について学習してきました。今学期は「日本三大菓子処」としての松江について学習していきます。その学習の一つとして、和菓子づくりを体験しました。当日は風流堂から柚本さん、島根県職業能力開発協会の方をお招きし、和菓子「すいせん」「さくら」を作りました。こどもたちは、タオル(ハンカチ)で手を湿らせながら、教えていただいた工程で丁寧に和菓子をつくっていました。最後にこどもたちから、和菓子職人になった理由や道具の種類、おすすめ和菓子などについての質問が出され、松江の和菓子についての学びを深めることができました。この日は1組でしたが、2組は30日に、3組は2月12日に、4組は2月6日にそれぞれ体験する予定にしています。このような活動を通して、ふるさと松江のよいところや素敵、魅力について学び、松江で育っていること、過ごしていることに誇りをもってくれるといいなと思います。

